

教科名		Study Skills		
対象学年		高校 1 年	コース・選択等	——
単位数		1 単位	教科書 (出版社)	——
参考書・ 使用教材		THE FIRST STEP データサイエンス (大修館書店)		
学習の ねらい		①授業に主体的に参画する態度や協働の学びに貢献する態度を身に付け、すべての教科の土台となる学習方法を確立できる。 ②情報を統計的に分析し、エビデンスに基づいて考察・判断することができる。 ③自身の考え（主張）を言語化し、他者に論理立てて伝えることができる。 ④社会で必須となるデジタルスキルを身に付け、将来のキャリアに活かす備えとする。		
学習 内容 と 流れ	学期・ 月等	単 元	内 容 ・ ね ら い	
	4 月	オリエンテーション	・ Study Skillsプログラムの概要を把握する。 ・ 情報リテラシー演習、生成AI実践	
	6 月	データサイエンス 1 データの種類・構造	・ 量的データと質的データの違いを理解し、分析目的に応じて適切なデータ形式を選択・整理する技能を習得する。 ・ データの欠損や外れ値が分析結果に与える影響を考察し、客観的な視点でデータを整える習慣を身につける。	
		データサイエンス 2 データの可視化・要約	・ 代表値（平均値・中央値等）や散布度の意味を理解し、データの分布特性を多角的に捉えて要約する力を養う。 ・ ヒストグラムや箱ひげ図などのグラフを適切に使い分け、データの背後にある傾向を視覚的に説明・共有できるようにする。	
		データサイエンス 3 相関係数・相関分析	・ 2 変数間の相関関係を数値（相関係数）と図（散布図）で捉え、事象間の関連性の強さを論理的に説明できる。 ・ 相関関係と因果関係を混同せず、第 3 の変数の存在などを疑いながら、データの関連性を慎重に解釈する批判的思考力を養う。	
	7 月	データサイエンス 4 回帰分析・近似曲線	・ 散布図に近似曲線を描くことでデータの傾向をモデル化し、未知の値に対する予測や現状の構造理解に役立てる手法を習得する。 ・ 数式（回帰式）を用いて予測を行う際、その精度（決定係数）や限界を意識し、根拠に基づいた意思決定を行う態度を身につける。	
		データサイエンス 5 量的データの検定（t 検定）	・ 仮説検定の考え方（有意差の判断基準）を理解し、2 つのグループ間の平均値の差が「意味のある差」かどうかを統計的に判断する。 ・ 単なる直感や経験に頼らず、p 値などの指標を用いて、主張の妥当性を数学的に裏付けるプロセスを経験する。	
		データサイエンス 6 質的データの分析 （カイ二乗検定）	・ クロス集計表から項目間の独立性を検定する手法を学び、アンケート結果などのカテゴリーデータの関連性を客観的に評価する。 ・ 身近な社会現象や学校生活における事象を質的データの観点から数理的に分析し、納得感のある結論を導き出す力を養う。	

学期・ 月等	単 元	内 容 ・ ね ら い
9 月 ～ 1 月	探究のために 1 質問紙法	・ 質問紙法のワークによって、アンケート調査の適切な方法を学ぶ。 ・ 自分達でアンケート調査を作ってみる。
	探究のために 2 テキストマイニング	・ フリーソフト「KH Coder」を使ってみることによって、質的データを見える化し、その結果をもとに客観的に考察する態度を育てる。
	探究のために 3 実験リテラシー	・ パラメータの理解、対照実験の取り方を実践的に学ぶ。
	探究のために 4 3Dプリンター	・ 自身のアイデアを3Dモデリングソフトを用いて三次元データとして表現し、物理的な実体へと変換するプロセスを習得する。
	2 月 まとめ	・ 1 年間のプログラムを経て、今自分が興味・関心をもっている分野について自分で 情報を収集しながら深掘りし、2 年生Dignityでの探究活動への備えとする。
学習の 留意点・ 評価など	・ 単位の認定について 授業の活動に主体的に参加して探究していること。ワークシートを提出していること。	